

学校法人 加計学園

平成20年度事業報告

【 岡山理科大学専門学校 】

I. 事業の概要（総括）

建学の理念を遂行するため、学生、保護者、受験生、高校、教職員、地域社会・市民から信頼される学校として時代のニーズにあった基礎創りを進めております。

- | | |
|---------|---|
| 学生 | 学生対応、施設の充実を図り、満足度アップを進めております。 |
| 保護者 | 検討の結果、平成21年度に教育懇談会を実施致します。 |
| 受験生 | 見やすい学校パンフレット、募集要項、ホームページ、分かりやすいオープンキャンパスを心掛けアピールしました。1割増（26名）の新入生がありました。 |
| 高校 | 県内については担当者を固定し、訪問頻度を上げ、情報交換を密にし、進路担当と人間関係を構築できるよう努めたが、まだ不十分で、今後の課題としたい。 |
| 教職員 | 勤務意欲の湧く体制の基礎づくりと意識改革を目指して学校運営にあたりました。事務職員の教育に係る意識と教育職員のベクトルを同一方向になるよう、会議、朝礼で方向性を打ち出しました。改善は見られるも、一朝一夕には難しく、今後も継続的な取り組みが必要であります。 |
| 地域社会・市民 | 動物愛護週間の行事、河川清掃ボランティア等々地域の行事等に参加し地域社会と連携し、地域に開かれた学校運営を目指しました。 |

II. 学校の概要

1. 学生の定員現員数

（平成20年5月1日現在）

課 程	定員数		現員数		
	入学定員	収容定員	1年	2年	合計
工業専門課程(建築学科昼・夜間部)	90	180	47	47	94
商業実務専門課程(映像情報学科)	0	0	-	-	-
文化・教養専門課程(動物系総合学科2年課程)	180	330	140	174	314
文化・教養一般課程(動物系総合学科1年課程)	30	30	2	-	2
小 計	300	540	189	221	410
建築学科専攻科	10	10	8	-	8
映像情報学科研究科	0	0	0	-	0
動物系総合学科研究科	25	25	10	-	10
合 計	335	575	207	221	428

（単位：人）

2. 学年暦

	春期休業	入学式	夏期休業	冬期休業	学年末休業	卒業証書授与式
昼間部	4月1日 ～4月9日	4月8日	7月24日 ～8月24日	12月24日 ～ 1月8日	3月21日 ～3月31日	3月20日
岡山理科大学 専 門 学 校	4月1日 ～4月9日		8月1日 ～8月24日	12月24日 ～ 1月8日	3月21日 ～3月31日	
夜間部	4月1日 ～4月9日		8月1日 ～8月24日	12月24日 ～ 1月8日	3月21日 ～3月31日	

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育・研究活動の進捗状況

(1) 保護者会等の創設を検討しました。

学生生活や保護者の満足度向上のため、保護者との情報交換のできるしくみや組織作りを検討し、事前段階として、次年度より教育懇談会を実施する事となりました。

(2) 自己点検・自己評価を段階的に実施しました。

授業アンケートを実施し、専任教員について管理職より報告・指導を実施致しました。

授業準備等で改善傾向が見受けられますが、まだまだ不十分であります。

《申請関係》

(1) 動物看護学科の3年制課程新設の届出を岡山県に提出し平成22年度よりスタートします。

《人事・組織》

(1) ボトムアップ、トップダウンの円滑実施な体制の構築を目指して学校運営にあたりましたが、まだ途上段階で継続的な取り組みが必要であります。

(2) 事務職員の減員に伴い、事務の集中化を実施しました。日中校務室が無人になることがなくなり、一定の効果はありました。

「真面目できめ細かい教育」の実施

(1) 教職員が学生個々をより把握し専門分野の能力を最大限に引き出し、即戦力として社会の求める技術、知識、社会人としての常識を身につけさせ、各種資格取得を目指し、より満足感の高い就職を勝ち取るために、教職員が一体となって学生をサポートしました。特に早期より就職活動を啓蒙し、就職内定率98%という結果になりましたが、次年度以降も更に力を入れて継続する必要があります。

(2) サブチューター制（2名制）を導入し、職員から適任者をあて、チューター不在時のフォローや女子学生に対し女性職員ならではの相談等きめ細かい対応を行いました。退学者数については効果はでませんでした。（退学者率5.6%昨年度4.8%）

(3) 学習環境の整備

全校的及び部署ごとに環境美化を実施し、状況は好転していますが継続的な取り組みが必要です。建築学科の製図台の買換え等教育機器の更新を随時実施しています。

入学者数・卒業生数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

	入学者		
		留学生	社会人
岡山理科大学専門学校	226	0	5

(単位：人)

卒業生数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	卒業生	退学者	除籍者	休学者	留年者※
岡山理科大学専門学校	230	24	7	6	4

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数

(単位：人)

2. 学生の募集・広報

「入学者の早期囲い込み」の実施

- (1) 受験生・保護者・高校に対し本校の内容をよりよく理解してもらえるように、見やすい、分かりやすいパンフレット、募集要項、ホームページを新年度早々に完成させました。次年度以降、更なる工夫が必要と思われます。
- (2) オープンキャンパスは毎月開催し、年間30回開催しました。

3. 就職活動状況

「出口を良くする」の実践

- (1) 1年次後半に2回、2年次に8回就職ガイダンスを実施しました。それぞれの時期に併せて必要な内容を実施し、就職意欲を刺激し早期から就職活動を開始するよう指導しました。
就職内定率は98%であったが、12月末で約70%（前年46%）の学生が内定しており、卒業間際に駆け込みで就職先を決めるといった感じは薄れた。ただ動物系教員の就職に対する意識を高める必要があると感じます。
- (2) 大学主催の企業懇談会に積極的に参加し、一般企業からの求人増に繋がるように積極的に働きかけました。

4. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	19年度決算額	20年度決算額
学納金収入	391,312	341,391
補助金収入	401	389
その他収入	7,475	6,262
帰属収入合計	399,188	348,042
基本金組入額合計	△ 414	△ 21
消費収入の部合計	398,774	348,021
人件費	241,681	224,037
教育研究経費	99,435	98,560
管理経費	32,363	37,702
その他支出	2,673	2,858
消費支出の部合計	376,152	363,157

○収支改善対策の具体的取組と効果

(1) 収入

- ・定員確保にむけ学生募集を強化し、授業料収入増を図りましたが、定員確保には至りませんでした。産学官連携を強化し企業からの受託研究、県から施設設備補助は前年度と比較し341千円の増額となりました。サブチューター制を導入し、きめ細かい対応で退学者の歯止めを図りましたが、退学者数24名で（前年度24名）効果がでませんでした。次年度も継続的に退学者減に向けて対策を講じて行きます。

(2) 支出

- ・人件費の削減
職員の1名減員を実施し、事務の集中化を行い効率化を図りました。専任教員の担当時間数、校務分掌の標準化を目指しましたが、今後の課題として実施する必要があります。
- ・光熱水費の節約を図ります。
定期的な巡回により無駄な照明のカット、冷暖房の省エネを実施しました。電気消費量は軽減されましたが、折からの電力会社による、電気代値上げの影響で電気代については軽減が図れませんでした。

《施設・設備》

- ・平素からこまめに管理、メンテナンスを行い施設・設備の耐用年数が延びるよう維持管理に努めました。老朽化した設備もあり、今後も継続が必要です。